アーカイブ新聞　（2015 年 5 月 15 日　第 800 号）

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員　中桐正夫

＊　東京天文台 100 周年記念誌作成時の資料－その 3-9-6－（91 ㎝光電赤道儀ドーム工事写真、仮組写真を含む）

アーカイブ新聞第 793 号（2015 年 4 月 30 日）から「東京天文台 100 周年記念誌作成時の資料－その 3－」について、その具体的資料について記事を書いている。今回は、アーカイブ室新聞第 353 号（2010 年 6 月 21 日）「東京天文台 100 周年記念誌作成時の資料－その 3－」の 9 項目の中の

② 岡山 91cm 望遠鏡ドーム 9 枚

③ 91cm 望遠鏡ドーム工事写真 3 枚

④ 91cm ドーム骨組仮組み立て 4 枚

の 3 点に分類された写真である。④の 91cm ドーム骨組仮組み立て 4 枚は製作会社であった石川島造船所での仮組写真と思われる。このように組上げた状態では輸送できないから仮組であろう(写真 1、2、3、4)。

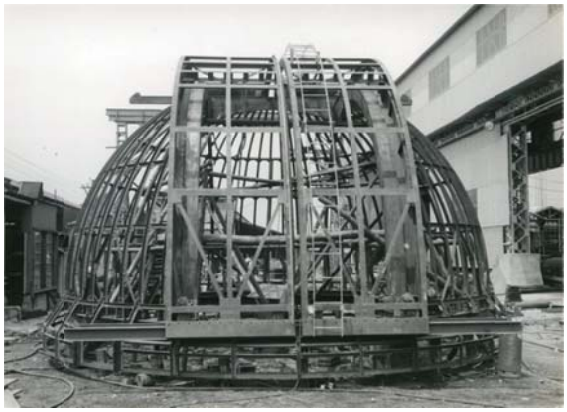

写真 1

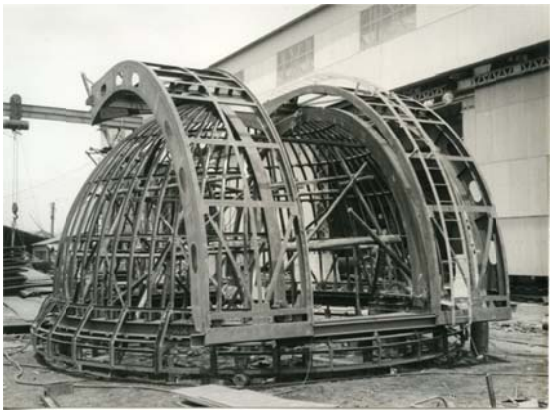

写真 2

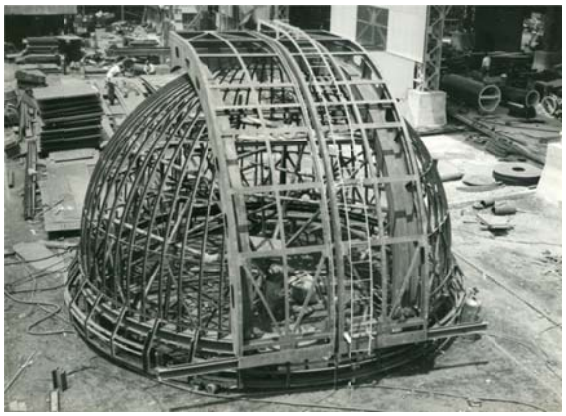

写真 3

写真 4

91 ㎝望遠鏡ドームの建設工事写真は数が少なく、この資料Ⅲの中には 188 ㎝望遠鏡ドーム工事の写真はたくさん残っている（次号で紹介する）が、91 ㎝望遠鏡ドーム工事で足場がある工事写真は次の 3 枚のみである（写真 5、6、7）。写真 7 は視察者の記念写真で、中央のファイルを持った人が石田五郎氏である。

写真 5

写真 6

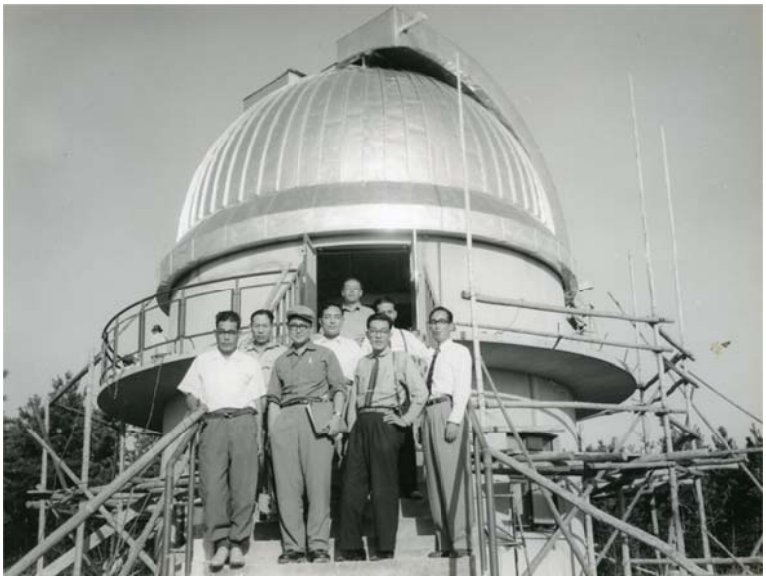

写真 7　視察者の記念写真

筆者は、ハワイに建設した大型光学赤外線望遠鏡の建設工事の現場に 8 年間いて、このような視察者の案内を数多く経験した。岡山天体物理観測所建設時の石田五郎氏もそうであったろうと想像がつく。この他に工事写真とは言えないが、観測床（写真 7)、その油圧装置(写真 8)、ドーム回転装置(写真 9)の装置写真 3 枚があり、ドーム工事が終わり足場のない完成した 91 ㎝望遠鏡童夢の写真が 7 枚ある（写真 10(2 枚)、11、12、13、14、15)。

また、91 ㎝望遠鏡ドームの後に建設された 188 ㎝望遠鏡ドームの建設現場の高い位置から撮られたと思われる写真が 2 枚（写真 16、17）がある。

写真 7　観測昇降床

写真 8　観測床油圧装置

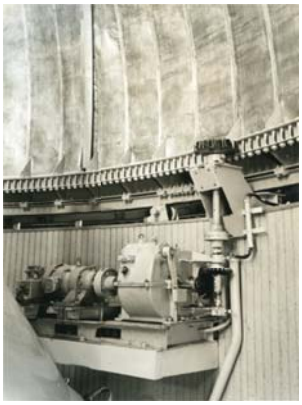

写真 9　ドーム回転装置

写真 10

写真 11

写真 12

写真 13

写真 14

写真 15

写真 16

写真 17

写真 16 には、91 ㎝望遠鏡ドームの手前に 2 棟の保税倉庫であったパイプハウスが見える。写真 17 は 188 ㎝望遠鏡ドームの最上部からの撮影ではなく航空写真かもしれない。

アーカイブ新聞は、今号で 800 号に達した。2008 年 4 月 8 日に第 1 号を発行した。この 1 号には天文情報センターにアーカイブ室が発足したことが書いてある。アーカイブ新聞はアーカイブ室新聞として始まり、2013 年 4 月 1 日でアーカイブ室がミュージアム検討室に衣替えをしたため、2012 年 4 月 11 日発行の第 671 号からアーカイブ新聞と名称を改めた。年間平均 100 号以上を発行したことになる。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp